

山梨県北巨摩郡須玉町

高 砂 遺 跡  
TAKASUNA SITE

須玉町統合保育園建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書

2004  
須玉町教育委員会

山梨県北巨摩郡須玉町

**高砂遺跡  
TAKASUNA SITE**

須玉町統合保育園建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書

2004

須玉町教育委員会

## 序

本報告書は、須玉町統合保育園建設に伴い、平成16年度に発掘調査された高砂遺跡について、その成果をまとめたものです。須玉町教育委員会が中心となり発掘調査を実施しました。検出された遺構は、調査対象地域内の中央を北から南へ、そして東へ走る鍵の手状の町道に沿うように弥生時代後期の住居址を9軒発見しました。

昨年、塩川病院増築に伴う調査で町内初めての弥生時代後期の集落跡が発見され、二度目の検出遺構です。統合保育園の駐車場予定地の方に集落は続くのではないかと考えられますが、須玉町の歴史に新しい貢が加った事を心から悦び、関係各位の御協力に窓くお礼申し上げます。

平成16年9月

須玉町教育委員会

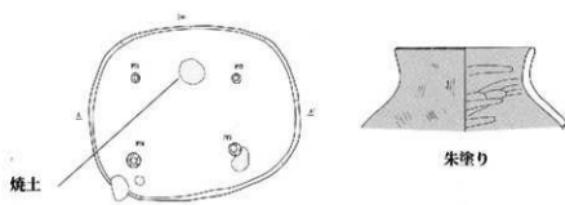
教育長 藤巻宣夫

## 例　言

1. 本書は、須玉町統合保育園建設に伴い発掘調査した高砂遺跡の報告書である。
2. 発掘調査は、須玉町教育委員会が調査主体となり実施した。
3. <発掘調査組織>  
調査主体　須玉町教育委員会　教育長　藤巻宣夫  
調査担当　須玉町教育委員会　山路恭之助  
調査委員　深沢裕三  
調査補助員  
角井保之助　向井直子　内藤正　小澤正二　安土鎮彦　小田切昇　五味賢一  
笠井玉美　赤岡照子　浅川英光　宮崎夏子　長田重子　中込麗子
4. 整理員  
高橋正明　市川道夫　石井力　樋口尚　岡本美恵子　市川博子　小尾裕美子　浅川  
佐知子　三井ちぐさ
5. 本書の執筆・編集　山路恭之助　深沢裕三　DTP編集　浅川佐知子
6. 本調査の出土品、諸記録は須玉町教育委員会が保管している。
7. 株式会社シン技術コンサルに写真測量・図化を委託した。
8. 本書の作成及び発掘調査にあたり、多くの方々よりご指導ご教示を賜わり、感謝  
の意としたい。

## 凡　例

1. 本書で用いた地図は、国土交通省国土地理院の数値 200,000（甲府 1/200,000 平成 9 年 7 月発行）及び、数値地図 25,000（若神子 1/25,000 平成 9 年 10 月 1 日発行）である。
2. 遺構及び遺物の挿図中の縮尺は下記のとおりである。  
遺構全体図 1/800　遺物実測図 土器 1/1 1/2 石器 1/1 鉄 1/1 古銭 1/1
3. 遺構及び遺物写真図版の縮尺は、統一されていない。



## 目 次

序

例言

目次

第1章 調査に至る経緯と経過.....	1
第2章 遺跡の立地と環境.....	1
第3章 遺構と遺物.....	2

## 挿図目次

第1図 遺跡位置図.....	1
第2図 周辺の遺跡.....	2
第3図 遺跡詳細図.....	3
第4図 全体図.....	8
第5図 1号～2号住居址.....	9
第6図 3号～4号住居址.....	10
第7図 5号～6号住居址.....	11
第8図 7号～9号住居址.....	12
第9図 8号住居址.....	13
第10図 1号住居址出土遺物.....	14
第11図 2号～3号住居址出土遺物.....	15
第12図 4号住居址出土遺物.....	16
第13図 4号住居址出土遺物.....	17
第14図 5号～7号住居址出土遺物.....	18
第15図 7号～9号住居址出土遺物.....	19
第16図 9号住居址出土遺物.....	20
第17図 9号住居址出土遺物.....	21
第18図 住居址外出土遺物.....	22

## 表目次

表1-1 上器観察表.....	23
表1-2 下器観察表.....	24
表2 石器観察表.....	25
表3 古銭観察表.....	25
表4 鉄観察表.....	25

## 図版目次

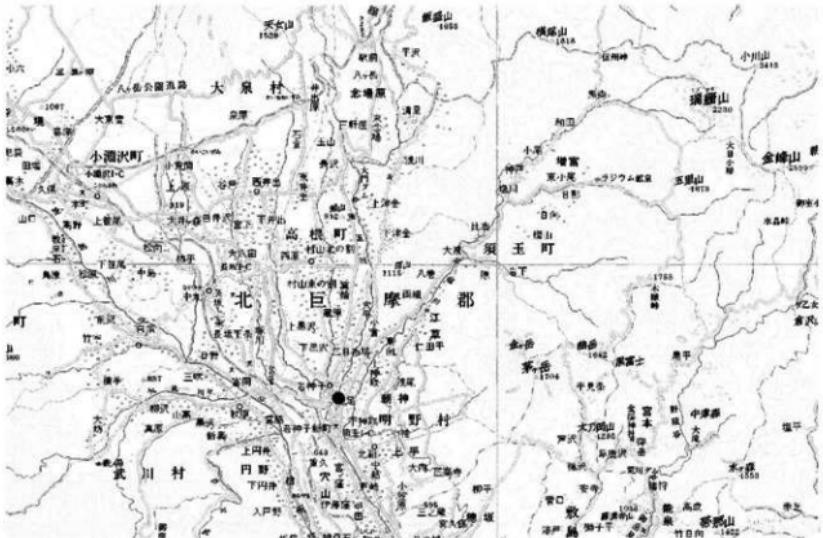
- 図版 1 ..... 発掘風景 3号住居址 4号住居址
- 図版 2 ..... 5号住居址 5号 6号住居址 7号 9号住居址
- 図版 3 ..... 8号住居址 噴塗出土状況
- 図版 4 ..... 1号 2号住居址出土遺物
- 図版 5 ..... 3号 4号住居址出土遺物
- 図版 6 ..... 5号～7号住居址出土遺物
- 図版 7 ..... 8号 9号住居址出土遺物
- 図版 8 ..... 9号住居址出土遺物
- 図版 9 ..... 住居外址出土遺物

## 第1章 調査に至る経緯と経過

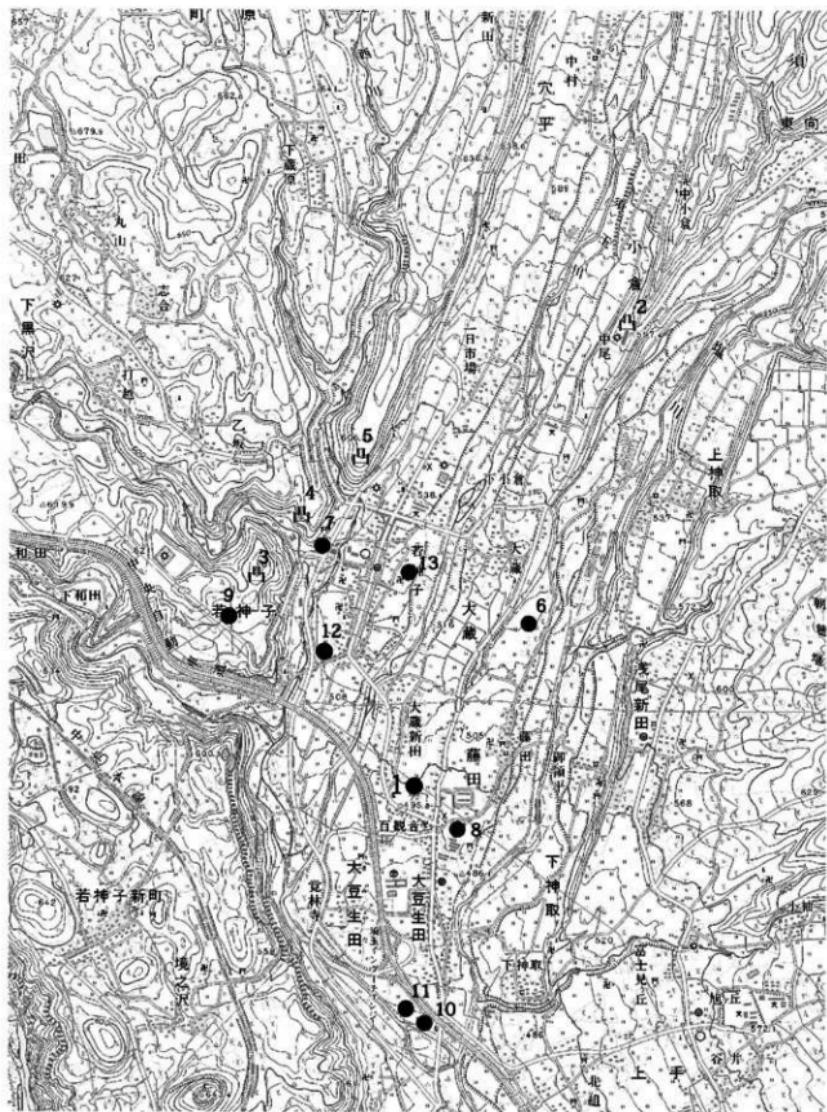
高砂遺跡は、須玉町南部に位置し、須玉町大蔵 824 番地ほかに所在する。平成 15 年 10 月、統合保育園建設に伴い試掘調査した結果、縄文時代の深鉢片を始め、住居址の貼床した床面と弥生土器のほか、平安時代の土師器、中世から近世に至る遺物が確認された。須玉町教育委員会が主体となり平成 15 年 11 月 29 日より発掘調査に着手し翌 16 年 4 月 23 日に終了し、調査の結果は弥生時代後期の竪穴住居址 9 と暗渠 4 条が、伴出した遺物と共に検出された。

## 第2章 遺跡の立地と環境

高砂遺跡は、塩川右岸と須玉川左岸に挟まれた中位河岸段丘上標高 500m に立地する。両河川によって形成された平坦地は、平安時代穀倉地帯に置かれた屯倉から字名に転じたといわれる小倉から大蔵を含め今も沃野農穫の地が広がり、平安時代の遺跡も中央道建設に伴い発見された大豆生田遺跡をはじめ、須玉町、明野村老人保健施設に伴い発掘調査された腰巻遺跡（1 次）では古墳時代後期の住居址が主で、奈良、平安時代の住居址も検出されている。老人保健施設に隣接して建設されることになったディサービスセンターの調査によって発見された腰巻北遺跡からも古墳時代後期の住居址と平安時代の住居址が検出されている。古墳時代後期の住居址は、一次と二次合せて 39 軒であった。そして、第三次が塩川病院西病棟建設予定地から検出された 13 軒の住居址が、高砂遺跡の 9 軒と同じ弥生時代後期に比定される構造であった。斯様に須玉町南東部一体が縄文時代の住居址を除いて、弥生時代から古墳時代、平安時代までの歴史そのものの地域である。

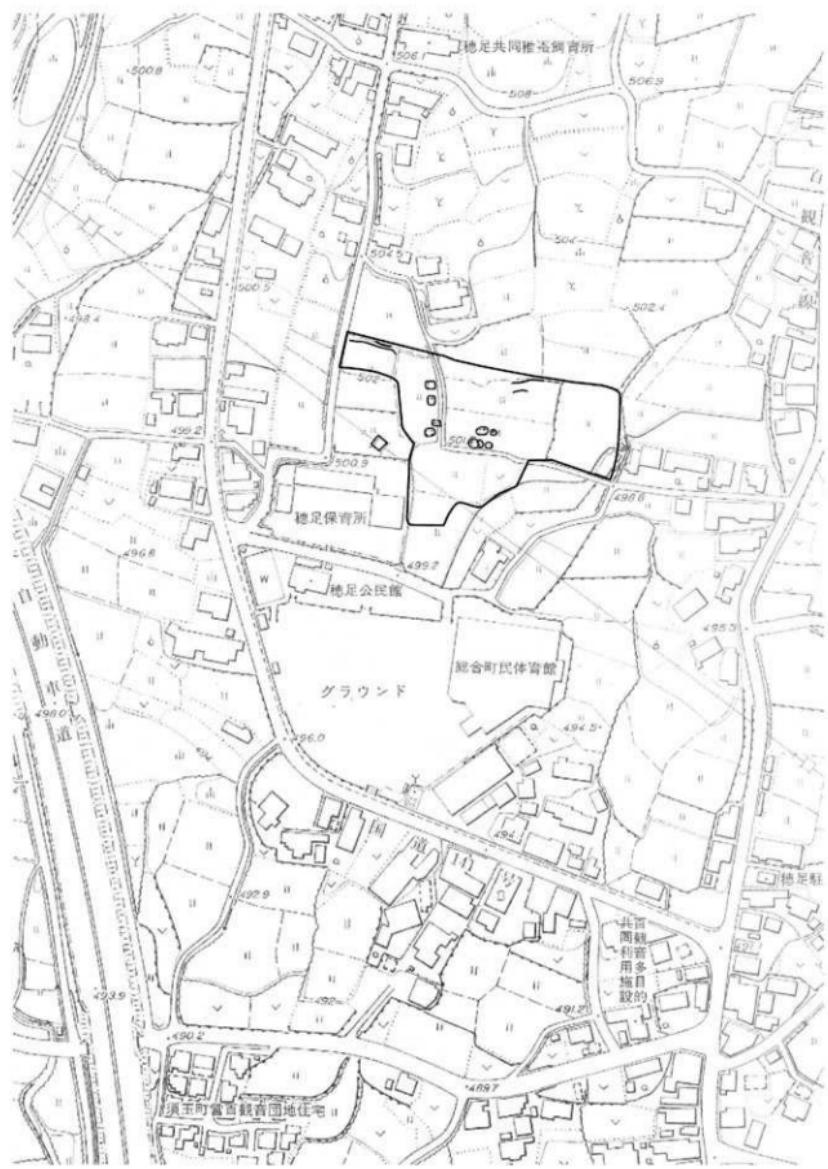


第1図 遺跡位置図 (1/200,000)



第2図 周辺の遺跡 (1/25,000)

1. 高砂遺跡
2. 中尾城
3. 若神子南城
4. 若神子古城
5. 若神子北城
6. 塚田遺跡
7. 湯沢古墳
8. 腰巻・腰巻北・腰巻南遺跡
9. 大小久保遺跡
10. 多屋前遺跡
11. 大豆生田遺跡
12. 五反田遺跡
13. 五崎前遺跡



第3図 遺跡詳細図 (1/2,500)

0 100m

### 第3章 遺構と遺物

#### 1号住居址（第5・10図 図版4）

住居の規模は長軸4.5m、短軸3.8mで、プランは東西にやや割張りの隅丸方形を呈する。壁高は、各コーナーに2.5cm～4cm遺存するものの、西壁と南壁は殆ど消失し、貼床とコーナーに残るわずかな壁でプランが確認できた。地床炉は、北側中央に位置し、長軸7cm、短軸5cmの楕円形で焼土と炭化粒子が認められた。炉内に2ヶ、炉から南へずれて1ヶ、15cm～25cmの不規形な河原石が検出された。住居に伴う柱穴は、地床炉の東のPit-1と住居の南西コーナーPit-5と南東コーナーPit-6で、残る3つのPitはその位置から住居に伴うものとは云い難い。柱穴の直径は15cm～22cmで、深さはPit-1とPit-6が25cm、他は10cm～15cmと浅い。

**出土遺物** 遺物は少なく、赤色塗彩した壺片、口唇に刻み目を施し頸部に波状文の壺形上器の口縁部片、壺形土器の胴下半部で外面にハケ目整形し内側をナデ仕上げのものなどが出土している。

#### 2号住居址（第5・11図 図版4）

1号住居址から3.7mほど北に位置し、住居の規模は長軸（東西）5m、短軸4.2mで、西壁が半球状に膨らむが住居のプランは隅丸方形である。壁は全体に低く、北東と南西の壁は殆ど消滅している。他は4cm～9cm遺存し、壁面はほぼ垂直である。床面は全面が貼床で、炉は西柱穴間の中央に位置し東西60cm、南北70cmの範囲に焼土があり、焼土内に西を除く三方に15cm～20cmの長方形の礫を確認した。柱穴は4本で北西のpitは直径40cmで他は20cmほどの楕円形で、深さは5cm～20cmとまちまちである。

**出土遺物** 4は異形ながら口縁と注口が遺存する土器で、体部の2/3が欠損のため原形不明で内外赤色塗彩され、煤状の黒いしみが認められる。他に胴下部にヘラ削り、底をヘラ仕上げの壺形土器底部と胴下部に横ハケ目、底部ヘラ仕上げの壺形土器底部が、共に内外にスス付着するもの2点の他、口唇に刻み目文の壺口縁片等20点余出土。

#### 3号住居址（第6・11図 図版5）

1号住居から7.5mほど南に位置し、東壁が町道の下にもぐりこんでいて、住居の規模は長軸（東西）約4.7mが推定され、短軸は3mの長楕円のプランを持つ住居址である。壁は、北と南が6cm、西壁が10cmで壁面はやや外傾している。床面は、凹凸がはげしく軟弱ぎみである。柱穴は5本検出され、東側のPit-1は直径20cmで深さは20cm～25cm、Pit-2は直径15cm、深さ20cm、西側のPit-4は直径が25cm、深さ12cm、Pit-5は長軸25cm短軸20cmの楕円で深さ10cm。中に河原石があり、除くと20cmを測る。南壁のほぼ中央のPit-3は直径20cm、深さ20cmである。炉や貯蔵穴を認めることはできなかった。

**出土遺物** 赤色塗彩された壺形上器の胴部片、壺形土器の口縁と頸部の破片、木葉痕が鮮明な壺底部2、無文の小壺1がほぼ完型で床直に逆位で出土している。

#### 4号住居址（第6・12・13図 図版5）

3号住居址から西へ1.5m離れた位置にあって、規模は長軸5.2m、短軸4.2mで隅丸楕円形を呈する。壁高は南が低く6cm、西で18cm、北が20cm、東は22cmが測られる。北壁はやや垂直に立上るが他はやや外反ぎみである。柱穴は4つあり、Pit-1は直径18cm、深さ30cm、Pit-2は直径20cm、深さ33cm、Pit-3は長径30cm、短径25cm、深さ25cmで、Pit-4は長径40cm、短径30cm、深さ30cmである。Pit-1とPit-2の中間に地床炉があり、東西58cm、南北65cmの範囲に焼土が広がる。Pit-3と東壁の間に、

東西 40 cm、南北 60 cm の範囲に焼土が厚さ 7 cm 堆積しており、Pit-4 と南西の壁の間に 25 cm × 30 cm の範囲に焼土が床面に認められた。南西隅に、直径 60 cm 程の礫が壁を切って住居内に崩落している。住居が廃絶後に落ち込んだものと考える。

出土遺物 棒状貼付文の壺形土器口縁片、口唇に刻み目文の壺形土器口縁片、壺の胴部の外側にハケ目を施した後にヘラ磨きをし、内部は横ハケ口の壺形土器片、3 ケの孔が認められる高坏の脚部や覆上中から蓮弁文の青磁片も出土している。石器では、やや小ぶりな短冊形打製石斧 1 が出土した。

#### 5 号住居址（第 7・14 図 図版 6）

遺跡調査のほど中央に位置し、住居の規模は長軸（東西）6m、短軸 4m で、住居のプランは長楕円形を呈する。壁高は低く、3.5cm ~ 6cm が測られる。北壁の一部は削られて消滅している。5m グリットのベルトに沿って床面を探す当初の段階で掘り過ぎた嫌いがある住居の 1/3 に当る西側の床面は、軟弱ぎみで凹凸があるものの、2/3 の床面は貼床である。炉は埋甕炉で、口縁と底部を欠損したものが埋め込まれ、遺存する口径は 21cm である。炉は焼土と炭化粒子を含み範囲は 65cm ~ 70cm である。柱穴は 6 本で Pit-1 は直径 18cm 深さ 15cm、Pit-2 は直径 12cm 深さ 10cm、Pit-3 は長径 15cm 深さ 40cm で東方向斜めにうがかれ、Pit-4 は長径 15cm 深さ 30cm、Pit-5 は長径 18cm 深さ 38cm、Pit-6 は長径 20cm 深さ 14cm である。Pit-3 は梯子受けと思われる。

出土遺物 埋甕炉に使われた壺形土器胴部片以外は、波状文を施して壺形土器の頸部片、球状の壺胴部片と、古くは胎土に金雲母を含む褐色の深鉢片、近世では磁器の猪口小片などがある。

#### 6 号住居址（第 7・14 図 図版 6）

5 号住から 1m 余東に位置し、住居址の規模は、長軸 3.2m 短軸 3m プランはやや楕円ぎみの円形である。北壁と南壁は緩やかな傾斜を呈し、東西の壁は 2cm ~ 4cm 直立している。床面は貼床で、住居中央に枕石を置いた炉があり、その規模は直径 36cm で深さ 5 ~ 6cm の浅い皿状に焼土が堆積している。柱穴は 5 本検出され、Pit-1 は直径 25cm 深さ 12cm、Pit-2 は直径 20cm 深さ 14cm、Pit-3 は長径 22cm 短径 20cm 深さ 15cm、Pit-4 は長径 25cm 短径 22cm 深さ 18cm、Pit-5 は直径 20cm 深さ 10cm である。

出土遺物 手捏の小型土器が 2 ケ 1 は口径 7.3cm 底径 3.3cm 器高 2.8cm で赤褐色土で胎土は粗い。2 は中型の坏で口径は 9.5cm ~ 9.7cm とやや大きい、底径は 5.2cm、器高 3.3cm で底部に先が尖った工具によって三本の線刻がされている。他に壺形土器、壺形土器の細片数個と、縄文を地文にした深鉢片、地文が無文で胴部に竹管文を施した深鉢片、施釉陶器碗のかけらも出土している。

#### 7 号住居址（第 8・14・15 図 図版 6）

5 号住から約 5m 南西に位置し、住居址の規模は南壁の一部が町道に切られているが、長軸 5.2m 短軸 5.0m の楕円形を呈している。壁は北で 22cm、西 20 ~ 22cm で南は町道の下、東は 9 号住を切って同じレベルの床面若しくは 1 ~ 2cm の壁が認められる。壁面はやや外反している。床面は全面貼床で、炉は西柱穴際に位置し、120cm の範囲に焼土が広がっている。地床炉と東壁際の貯蔵穴の間を 50cm 幅に帯状の炭化粒子が認められた。柱穴は 5 本検出され Pit-1 は直径 20cm 深さ 32cm、Pit-2 は長径 20cm 短径 12cm 深さ 38cm、Pit-3 は直径 18cm 深さ 17cm、Pit-4 は長径 20cm 短径 18cm 深さ 26cm、Pit-5 は直径 20cm 深さ 15.5cm が測られる。貯蔵穴は北壁寄りの東側に位置し直徑 50cm で内側へ傾斜して掘られている。

出土遺物 内外赤彩色の壺形土器片、刷目文の斜交錯模様を呈する壺形土器胴部片や縱方向へ柳目状文様

を施した壺形土器片などがある。2は底に木葉痕のある壺形土器の胴下部で外面を刷目整形後、ヘラ磨きが施されている。

#### 8号住居址（第9・15図 図版7）

7号住に住居址の1/3を切られている9号住から東へ1m程離れて位置し、住居の規模は長軸4m短軸3.5mで平面プランは楕円形を呈する。壁は、東10cm、西10cm、北12cm、南19cmで南東の壁が外反するが他は直立に近い。床面は全面貼床だが凹凸がある。地床炉は住居の中央に位置し長軸40cm短軸30cmの楕円形に焼土が認められた。柱穴は5本でPit-1は長径40cm短径24cm深さは23cmで底に石がある。Pit-2は長径22cm短径20cm深さ15cm、Pit-3は長径20cm深さ15cm、Pit-4は長径20cm深さ18cm、Pit-5は長径32cm短径24cm深さ16cmで底に石がある。

**出土遺物** 覆土巾から地文が縄文の深鉢片と半截竹管工具による沈線文片などの縄文土器が出土。主は弥生時代後期の土器の破片である。大型の朱塗り壺形土器片のほか、左右交互の斜線を施した壺形土器頸部片、土製の紡錘車1、石器は黒曜石の剥片石器、先端に打痕があるたたき石が出土。

#### 9号住居址（第8・15・16・17図 図版7・8）

7号住と重複する住居で、東側の1/3を切られ、住居の規模は長軸（南北）4.2m短軸は推定3.6mぐらいと思われる。壁は北が8cm西21cm～23cm南25cmが測られ、直立する南壁以外は外反する。床は一部に貼床が認められたが炉は検出できなかった。柱穴は4本で、Pit-1は直径14cm深さ11cm、Pit-2は長径22cm短径20cm深さ13cm、Pit-3は直径20cm深さ17cm、Pit-4は長径22cm短径20cm深さ11cmと浅い。南壁際に長径5.2cm短径35cm深さ20cmの上坑を確認した。

**出土遺物** 16櫛状工具による平行直線文の壺形土器の頸部片、波状文の壺形土器頸部片、10は赤色塗彩の高杯脚部片、4は頸部に波状文、口縁が直立ぎみの壺形土器、赤色塗彩の壺口縁片など出土点数は4号化に次いで多い。殆ど床面に差がない7号住と重複していることに関係があるのかも知れない。

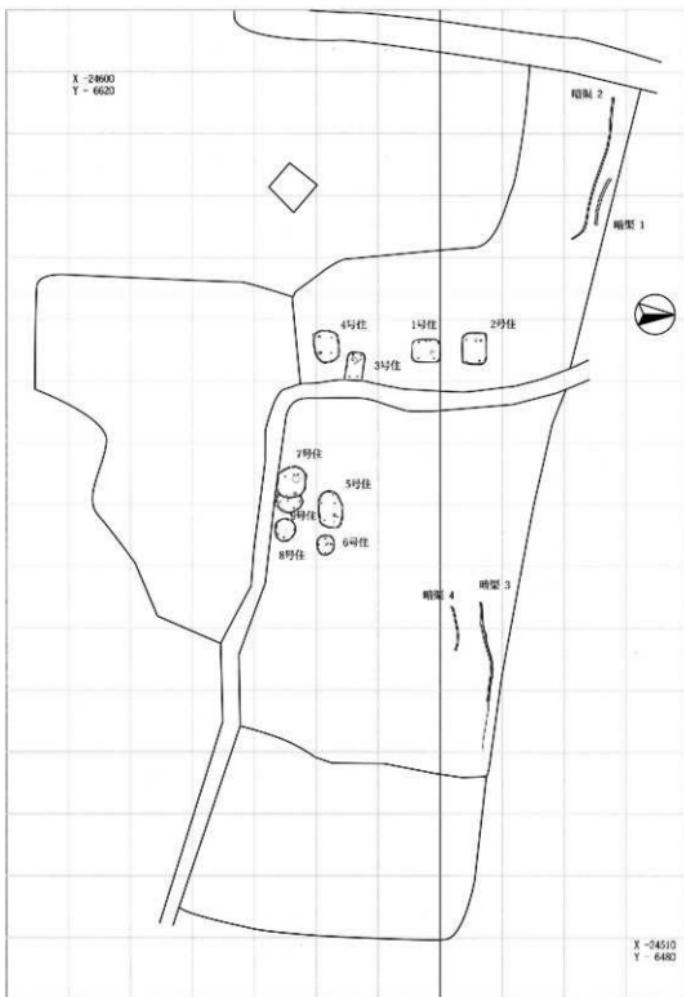
#### その他の遺構と遺物（第18図 図版9）

**暗渠1と2** 現存する穗足保育園から大蔵新田の集落へ通ずる町道沿いに検出された暗渠で1は9m、2は22m～23mで2条の暗渠の周辺から北宋錢（景德元宝、皇宋通宝、元豐通宝）三枚と腐蝕著しく判断出来ない古錢一枚が出土している。

**暗渠3と4** 調査区の北東寄りに暗渠1と2同様に東西の向きに平行して造られ、暗渠3は約18m、暗渠4は約7mと短い。暗渠3の傍らから黒曜石の小型石鏃2ヶ、北宋錢（熙寧元宝）が出土している。暗渠4の南から一部を欠損した十鈴と鉄鎌と鎧が著しい釘が出土し、鉄鎌出土地点から東へ約15mの位置で唐錢の開通元宝が出土している。

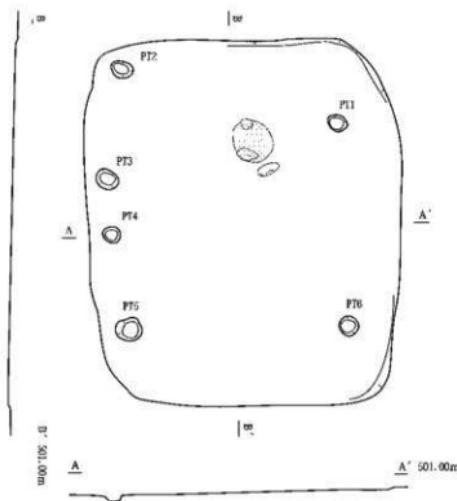
## おわりに

平成15年2月から3月まで、5月初頃から5月末までの二回に亘り、塩川病院西病棟建設に伴う本調査の結果、弥生時代の住居址13軒と同時代後期の遺物が出土した。塩川右岸中位河岸段丘上に弥生時代の集落跡を検出できたことは昭和56年町内で本格的発掘調査が行われて以来初めてのことであった。そして今回、腰巻南遺跡から北西へ約300m程離れた高砂遺跡から、同時期の9軒の住居址と遺物が出土したことは今口若神子南部で商店、銀行、学校などが立ち並び賑わいを見せる大蔵新田から百観音そして藤田にかけて、県道小倉、百観音線に沿う二つの集落の発見によって、それ以上の集落の存在が想定され、弥生時代後期の集落の範囲、遺構の形態、遺物の関連性の有無など検討課題の多い発掘調査であった。

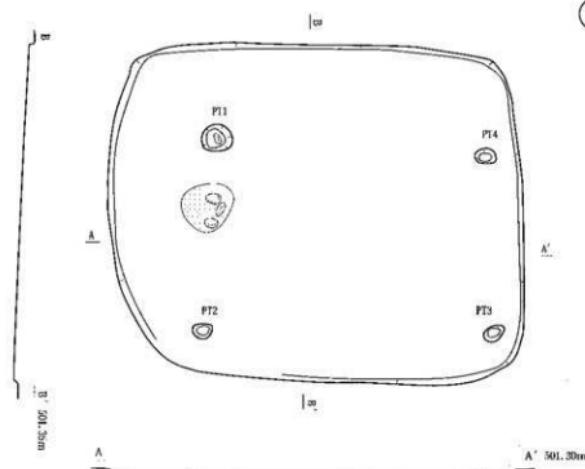


第4図 全体図 (1/800)

1号住居址

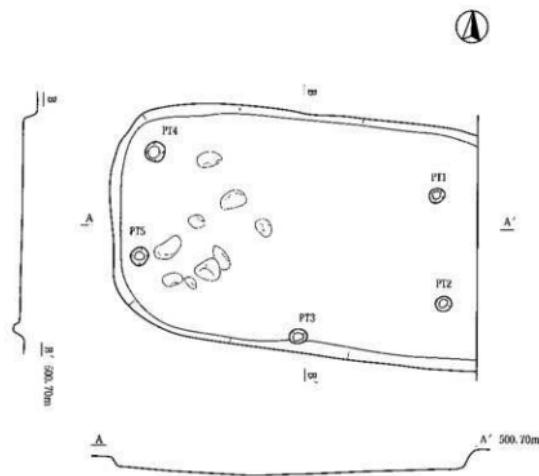


2号住居址

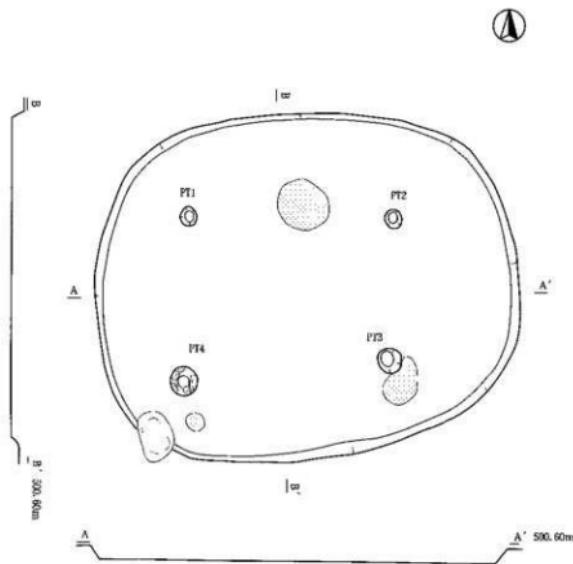


第5図 1号・2号住居址 (1/60)

3号住居址

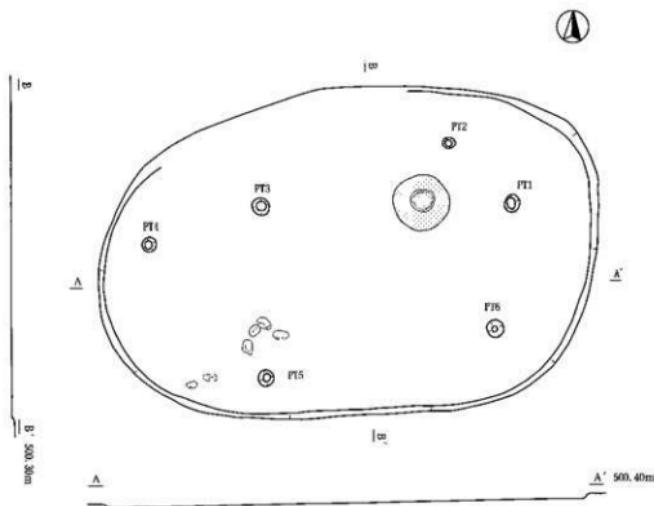


4号住居址

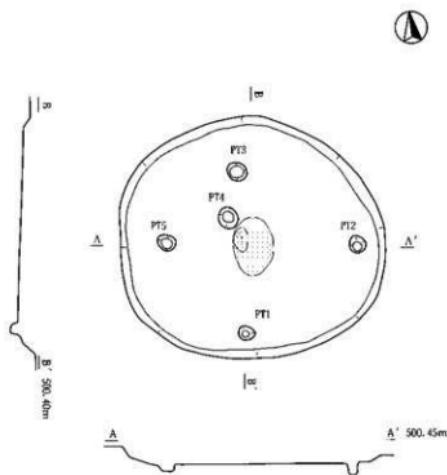


第6図 3号・4号住居址 (1/60)

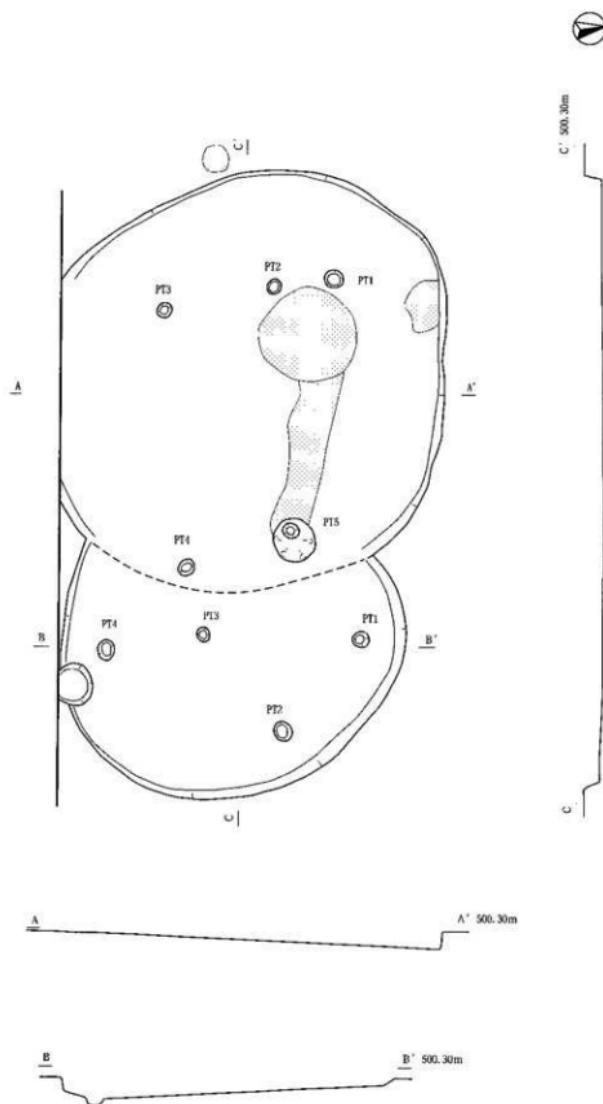
5号住居址



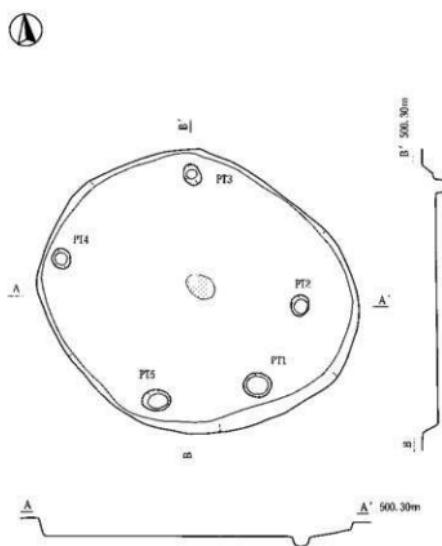
6号住居址



第7图 5号 6号住居址 (1/60)

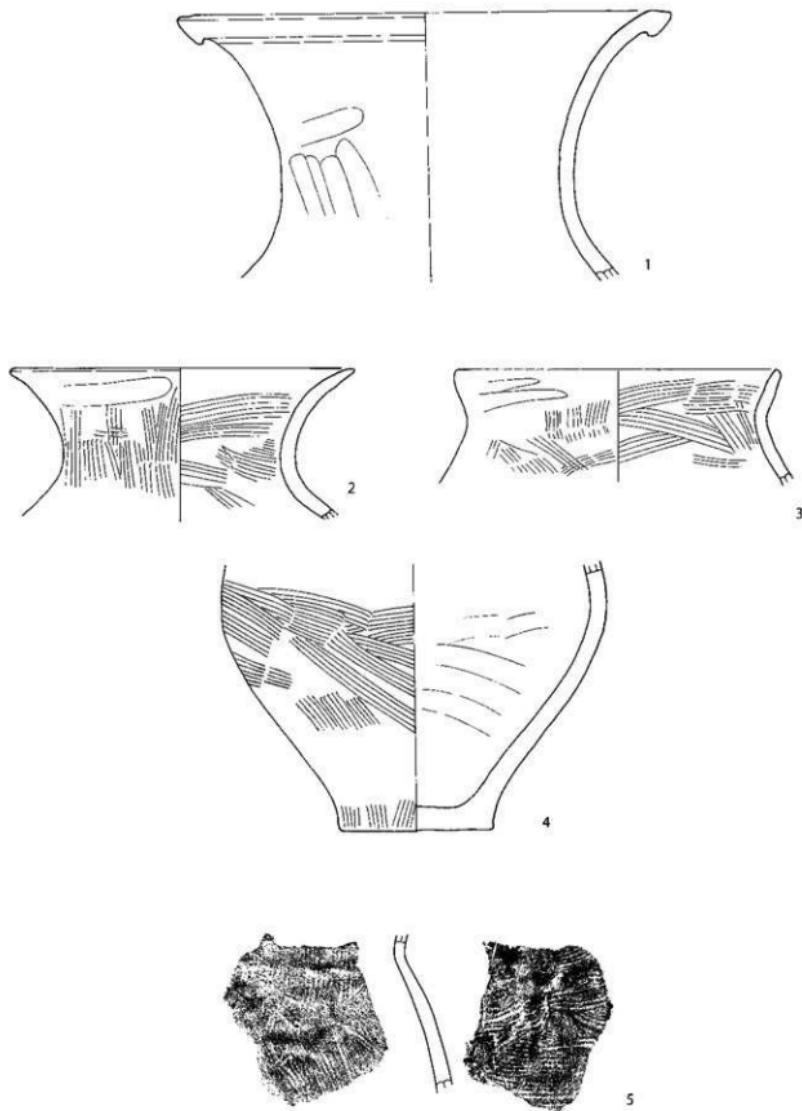


第8図 7号9号住居址 (1/60)



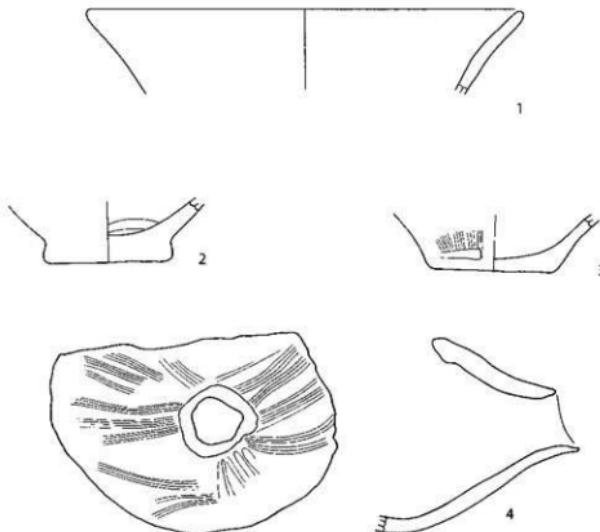
第9図 8号住居址 (1/60)

1号住居址

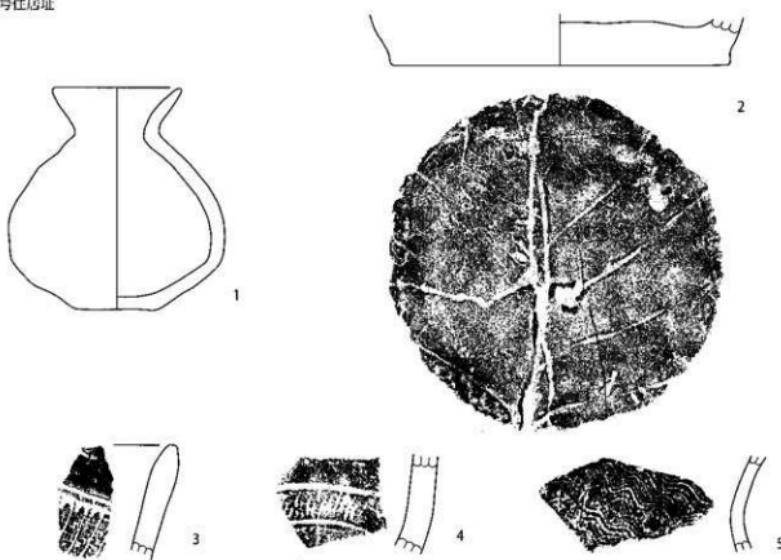


第10図 1号住居址出土遺物 (1/2)

2号住居址

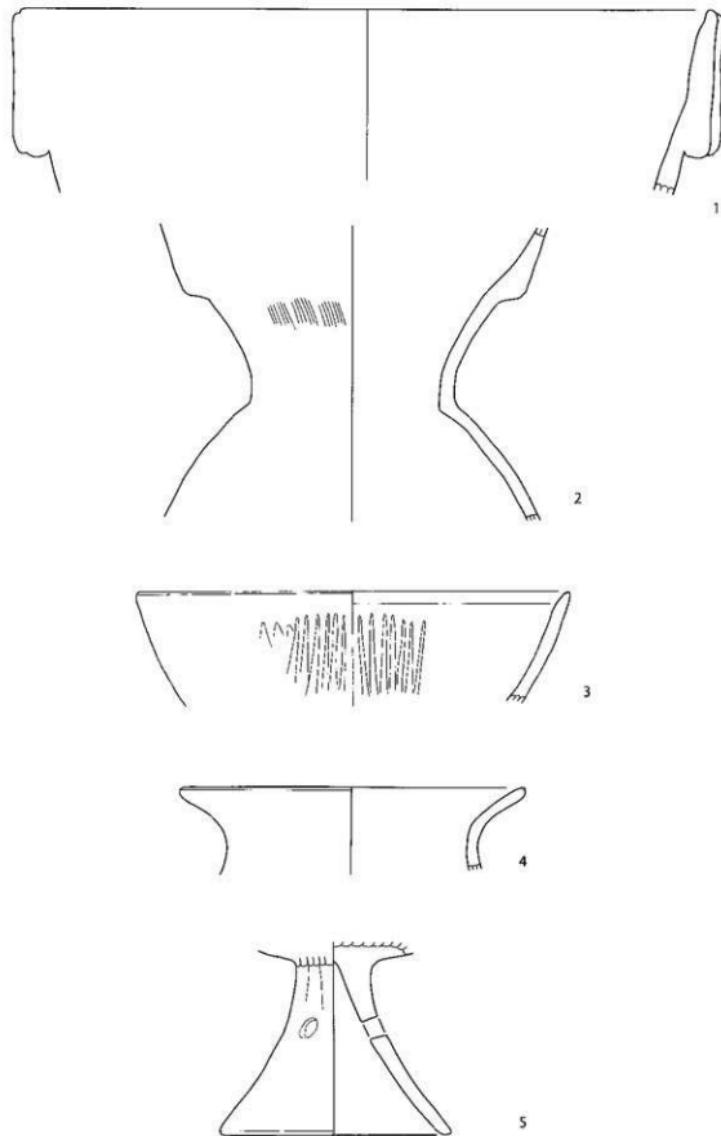


3号住居址



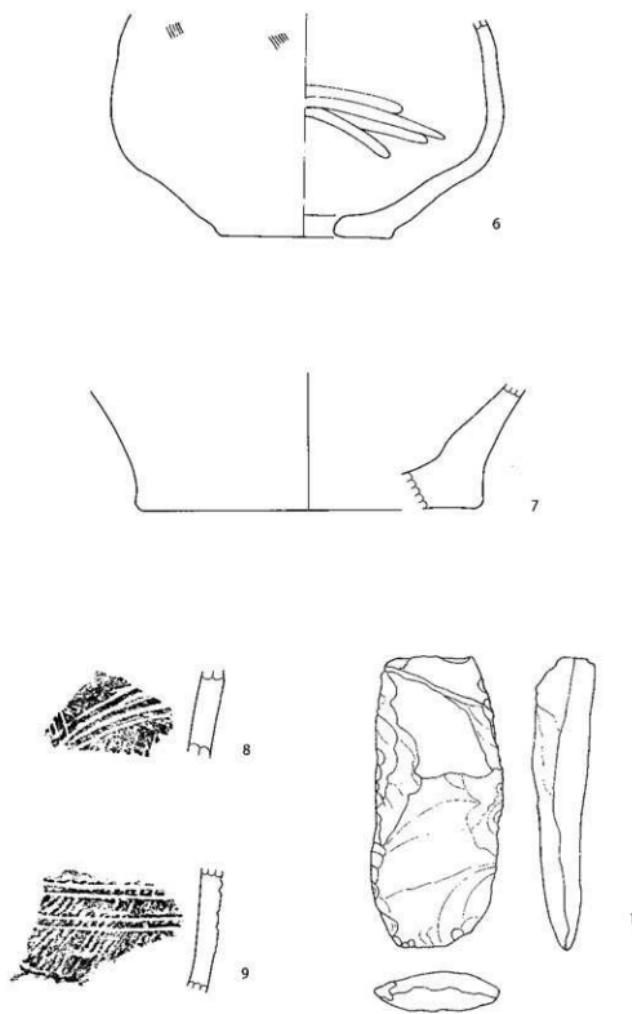
第11図 2号・3号住居址出土遺物 (1/2)

4号住居址



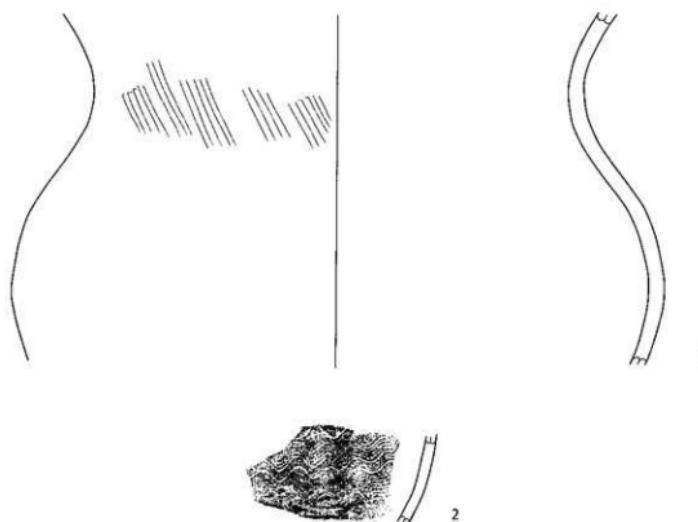
第12図 4号住居址出土遺物 (1/2)

4号住居址



第13図 4号住居址出土遺物 (1/2)

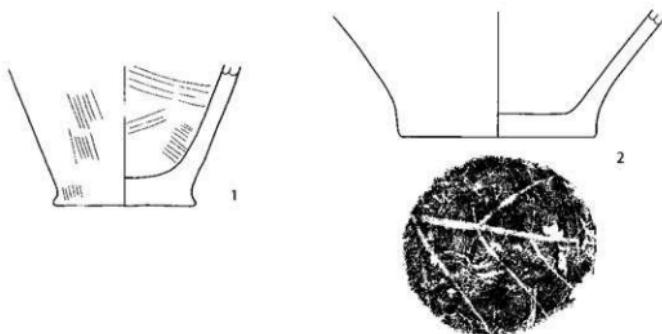
5号住居址



6号住居址

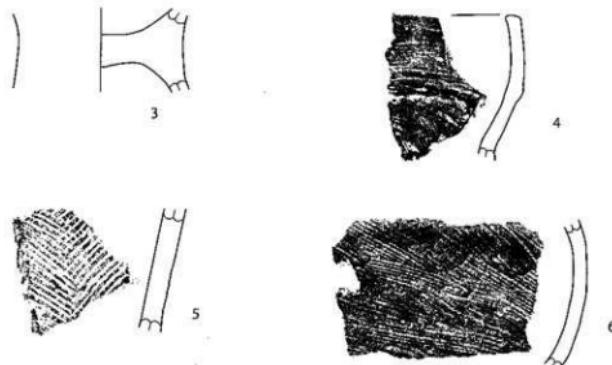


7号住居址



第14図 5号 6号 7号住居址出土遺物(1/2)

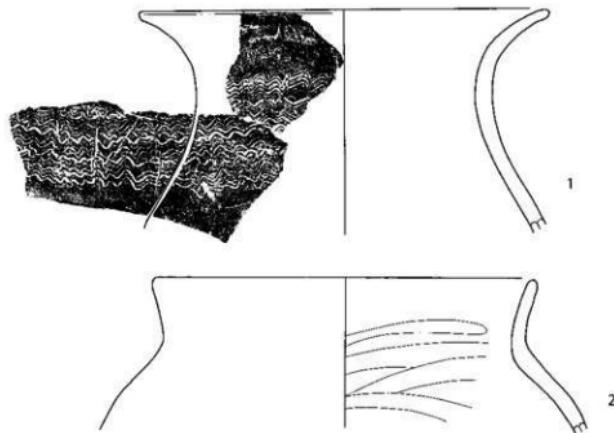
7号住居址



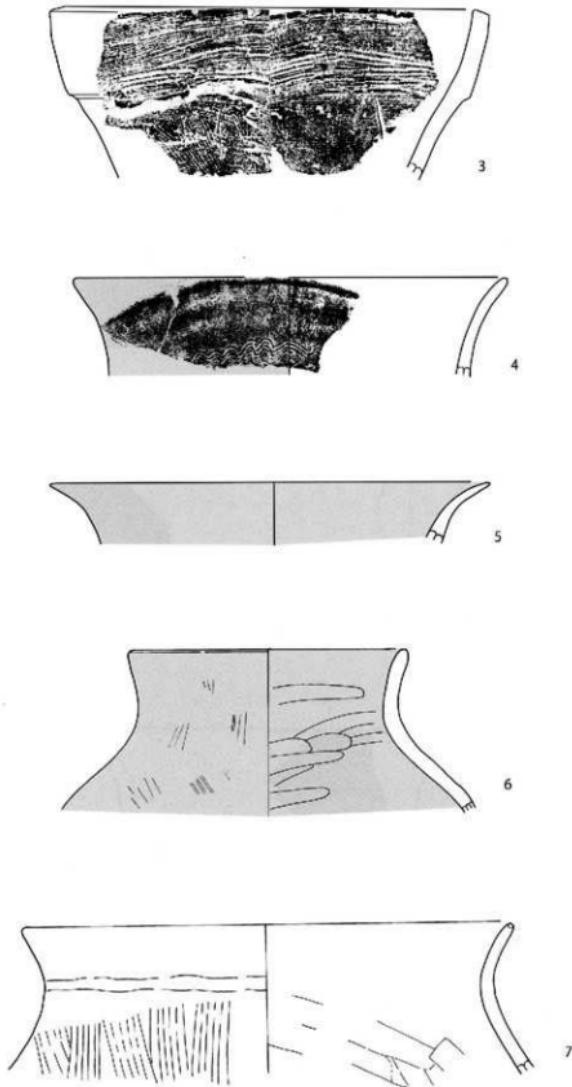
8号住居址



9号住居址

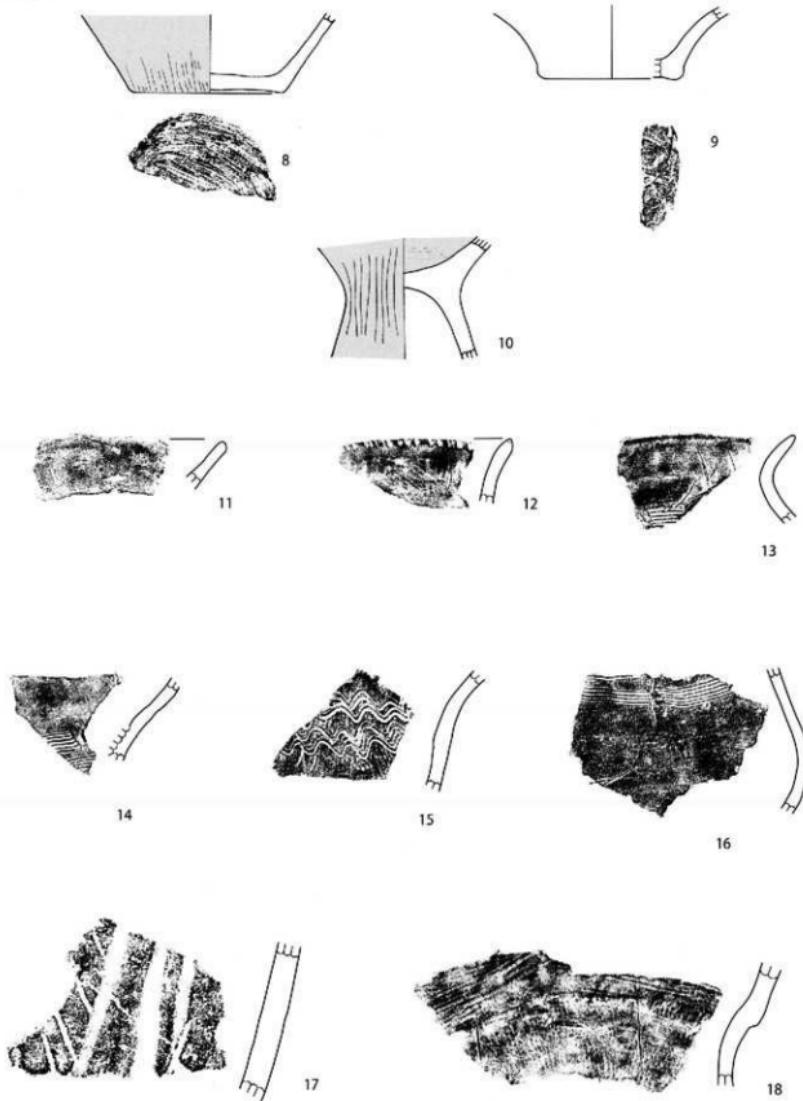


第15図 7号 8号 9号住居址出土遺物 (1/2)



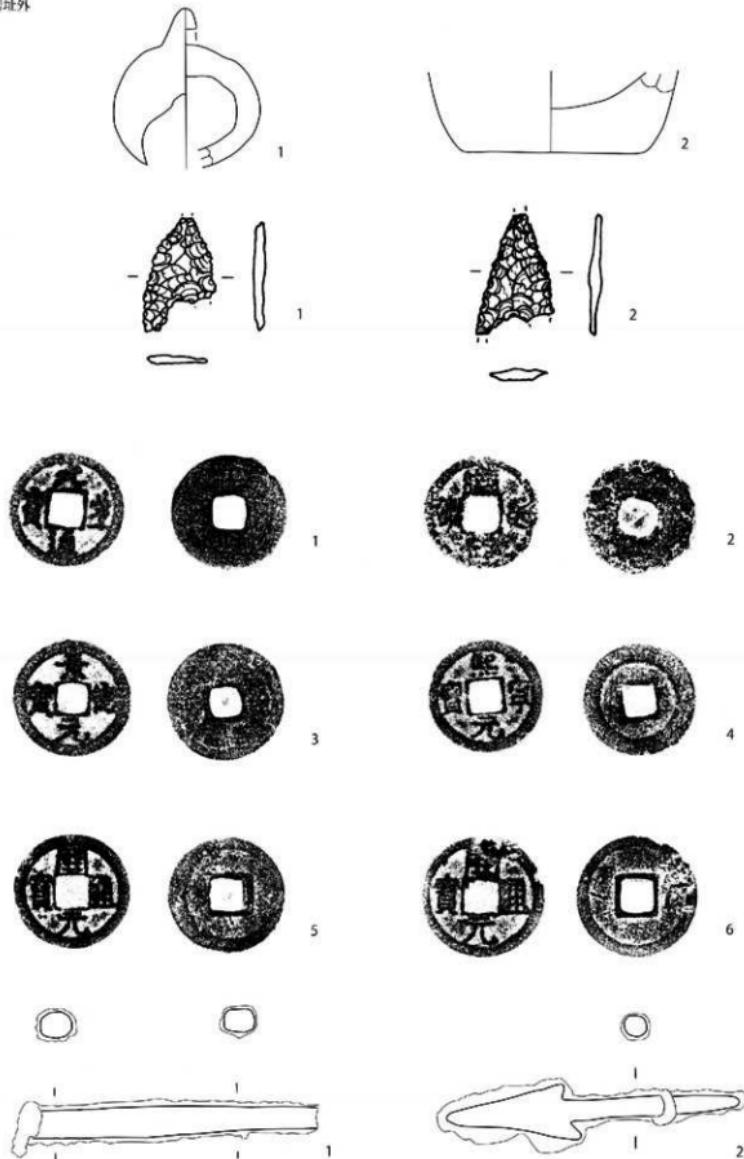
第16図 9号住居址出土遺物（1/2）

9号住居址



第17図 9号住居址出土遺物 (1/2)

住居址外



第18図 住居址外出土遺物 (1/1)

表1-1 土器概要表

単位 cm  
( ) 内の数字は、概測値

標印	出土地点	番号	種別	種別	口径	底径	高さ	色 質	胎 上	整 形 姿 文	備 考
10	1号住	1	土器	壺	(19.8)	-	-	褐色	細かい砂粒子を多く含む	(外) ハケ調整 口付部斜削	
10	1号住	2	土器	壺	(14.2)	-	-	褐色	白色粒子、灰石	(内) 縁ハケ口 (外) 腹ハケ口	
10	1号住	3	土器	壺	(13)	-	-	黄褐色	白色粒子、金雲母	(内) ハケ口	
10	1号住	4	土器	壺		6.1	-	黄褐色	細かい砂粒子を多く含む	(外) ナデ (外) ハケ口	
10	1号住	5	土器	壺	-	-	-	赤褐色	白色粒子、灰母	(内) 縁ハケ口 (外) 腹ハケ口 赤色塗装	
11	2号住	1	土器	壺	-	-	-	黄褐色	白色粒子	(外) 口付部削み目あり	
11	2号住	2	土器	壺	-	5.2	-	褐色	白色粒子、石英	(内) 腹辺部へつ削り	
11	2号住	3	土器	壺	-	4.8	-	黄褐色	白色粒子、灰石	(外) ハケ口、ヘラ削り	
11	2号住	4	土器	注口土器	-	-	-	赤褐色	白色粒子、灰石	(外) ハケ調整、赤色塗装	
11	3号住	1	土器	小壺	5.1	3.7	9.1	褐色	砂粒子多く含む	(外) 木座底	
11	3号住	2	土器	壺	-	(13.0)	-	褐色	白色粒子	(内) ナデ	
11	3号住	3	土器	壺	-	-	-	褐色	白色粒子、赤色粒子	(内) 沈刻文	
11	3号住	4	土器	壺	-	-	-	褐色	白色粒子、金雲母	(外) 拾縫縫合文	
11	3号住	5	土器	壺	-	-	-	暗褐色	黒竹青合色	(内) ナデ (外) 波状文	
12	4号住	1	土器	壺	(27.8)	-	-	褐色	白色粒子、灰母	(内) 縁ハケ調整 (外) 口縁部斜削付口、ハケ調整	
12	4号住	2	土器	壺	-	-	-	褐色	白色粒子、石英	(外) ハケ口	
12	4号住	3	土器	壺	(17.8)	-	-	赤褐色	白色粒子、灰石	(外) 蛇文 (外) ヘラ削り	
12	4号住	4	土器	壺	(14)	-	-	黄褐色	細かい砂粒子多く含む	(内) ナデ (外) ナデ、口唇部削りあり	
12	4号住	5	土器	高壺	-	(9.1)	-	赤褐色	白色粒子、黑色粒子	(外) ヘラ削り	
13	4号住	6	土器	壺型壺	-	-	-	褐色	白色粒子、白英	(内) ヘラ削り (外) ハケ口	
13	4号住	7	土器	壺	-	13.4	-	赤褐色	白色粒子、赤色粒子、灰石		
13	4号住	8	土器	壺	-	-	-	黄褐色	白色粒子、灰母	(外) ヘラ削り (外) 方母	
13	4号住	9	土器	壺	-	-	-	赤褐色	白色粒子、灰石	(外) ハケ口 振洗痕	
14	5号住	1	土器	深壺	-	-	-	褐色	細かい砂粒子多く含む	(外) ハケ口、唇巻	
14	5号住	2	土器	壺	-	-	-	淡黃褐色		(外) スス付輪、波状文	
14	6号住	1	土器	小型壺	7.3	3.3	2.8	褐色	黑留神、白色粒子	手づくね上部	
14	6号住	2	土器	壺	(9.6)	5.2	3.3	褐色	白色粒子、赤色粒子	底面に鋸いしの線刻、手づくね上部	
14	7号住	1	土器	壺	-	5.8	-	褐色	白色粒子	(内) ハケ口 (底) 唇巻	
14	7号住	2	土器	壺	-	8.0	-	褐色	黑留神、白内粒子	(外) ハケ口 深擦痕ヘラ削り (底) 木葉底	
15	7号住	3	土器	台付壺	-	-	-	淡褐色	灰石、唇巻	(内) ナデ	
15	7号住	4	土器	壺	-	-	-	淡灰褐色	白色粒子、赤色粒子	(外) ハケ口	
15	7号住	5	土器	壺	-	-	-	褐色	鐵力母、白色粒子	(内) ハケ口	
15	7号住	6	土器	壺	-	-	-	赤褐色	赤留神、白色粒子	(内) ハケ口 (外) ハケ口	
15	8号住	1	土器品	筋縫市のツバ	0.8	4.8	1.1	淡褐色	黑留神、白色粒子	(内) ハケ口	
15	8号住	2	土器	壺	-	-	-	褐色	鐵力母、白色粒子	(内) ハケ口	

表 1-2 土器観察表

単位 cm  
 ( ) 内の数値は、推定値

順番	出土地点	番号	種別	器種	口径	底径	高さ	色調	胎土	表面像文	備考
15	9号住	1	土器	壺	16.8	-	-	赤褐色	白色粒子	(内) ハラ削り (外) 波状文	
15	9号住	2	土器	壺	(15.6)	-	-	赤褐色	白色粒子	(外) ヨコハラ削り (外) ヨコハケ目後タテハラ墨	
16	9号住	3	土器	壺	18.0	-	-	黄褐色	白色粒子、鉄石、砂粒	折り返し (縦ヨコハケ目) と斜めハケ目 (外) ヨコハケ目	
									f		
16	9号住	4	土器	壺	(17.6)	-	-	褐色	白色粒子	(外) ハケ目、口縁下波状文、赤色渲染	
16	9号住	5	土器	壺	(17.8)	-	-	赤褐色	白色粒子、砂粒子	(内外) ハケ目磨き、赤色渲染	
16	9号住	6	土器	壺	(11.4)	-	-	赤褐色	白色粒子、砂粒	(内外) ハケ目磨き、赤色渲染	
16	9号住	7	土器	壺	-	-	-	褐色		口唇削り、口縁下は藤状工具による平行波状文	
17	9号住	8	土器	壺	-	(6.4)	-	褐色		(外) ハラ削り (底) ハラ削り (外) 赤色渲染	
17	9号住	9	土器	壺	-	(5.6)	-	褐色	赤色粒子	(外) ヨコハケ目、ハラ削り (外) ヨコハケ目、ハラ削り	
17	9号住	10	土器	壺	-	-	-	赤褐色	白色粒子	(外) 赤色渲染ハラ削り (底) ハラ削り	
17	9号住	11	土器	壺	-	-	-	赤褐色	白色粒子	(内外) ハラ削り (外) ハケ目	
17	9号住	12	土器	壺	-	-	-	暗褐色		口唇削り、口縁外斜めハケ目 (内) 斜いヨコハケ目	
17	9号住	13	土器	壺	-	-	-	赤褐色		(内外) ハラ削り (外) 藤状工具による横方向の沈線文	
17	9号住	14	土器	壺	-	-	-	赤褐色	白色粒子、赤色粒子	(外) 藤状工具による平行波状文、赤色渲染	
17	9号住	15	土器	壺	-	-	-	黄褐色	白色粒子	藤状工具による平行波状文	
17	9号住	16	土器	壺	-	-	-	赤褐色	白色粒子	藤状工具による平行波状文、赤色渲染	
17	9号住	17	土器	深体	-	-	-	淡褐色	白色粒子、骨片	半藤状工具による (底) の波状文と底) の波状文	
17	9号住	18	土器	壺	-	-	-	黄褐色	骨片	折り返し口縁トハケ目 (内) ハラ削り	
18	学以外	1	土器品	土器	(3.0)	3.0	3.2	黄褐色			
18	紅屋外	2	土器	手捏	-	(3.6)	-	褐色	白色粒子、赤色粒子	(外) ハケ目	

表 2 石器観察表

擲岡	出土地点	番号	分類	長さ (cm)	幅 (cm)	厚み (cm)	重さ (g)	材質	備考
13	4号住	1	打製石斧	12.3	5.1	1.6	186.7	砂岩	
18	住居外	1	石鍬	(2.6)	1.2	0.3	(0.7)	黒曜石	
18	住居外	2	石鍬	(2.3)	1.3	0.2	(0.7)	チャート	

表 3 古銭観察表

擲岡	出土地点	番号	分類	外径 (cm)	孔径 (cm)	重さ (g)	材質	備考
18	住居外	1	錢貨	2.3	0.7	2.1	銅	元豐通宝
18	住居外	2	錢貨	2.3	0.7	1.3	銅	皇宋通宝
18	住居外	3	錢貨	2.4	0.7	2.8	銅	景德元宝
18	住居外	4	錢貨	2.3	0.7	3.1	銅	熙寧元宝
18	住居外	5	錢貨	2.3	0.7	2.9	銅	開通元宝
18	住居外	6	錢貨	2.5	0.7	2.9	銅	開通元宝

表 4 鉄観察表

擲岡	出土地点	番号	分類	長さ (cm)	幅 (cm)	厚み (cm)	重さ (g)	材質	備考
18	住居外	1	釘	(6.3)	0.7	0.6	(9.0)	鉄	
18	住居外	2	鉄	6.3	1.7	5.5	7.8	鉄	

写真図版



発掘風景

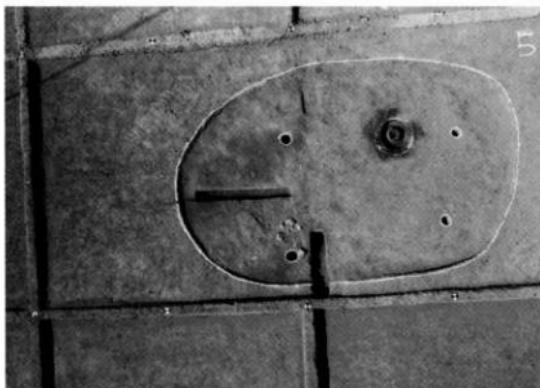


3号住居址



4号住居址

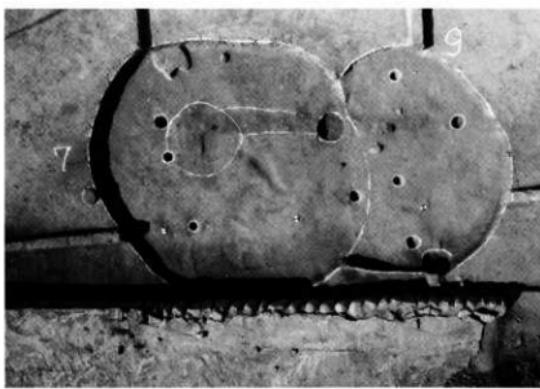
图版 2



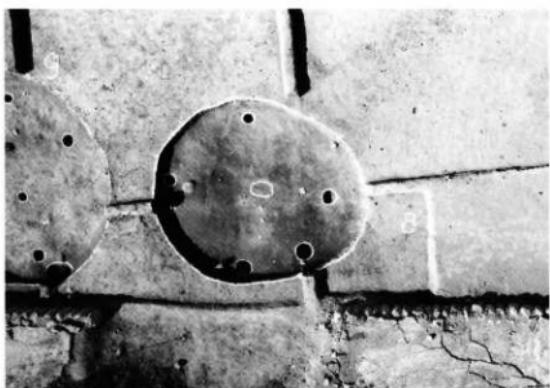
5号住居址



5号 6号住居址

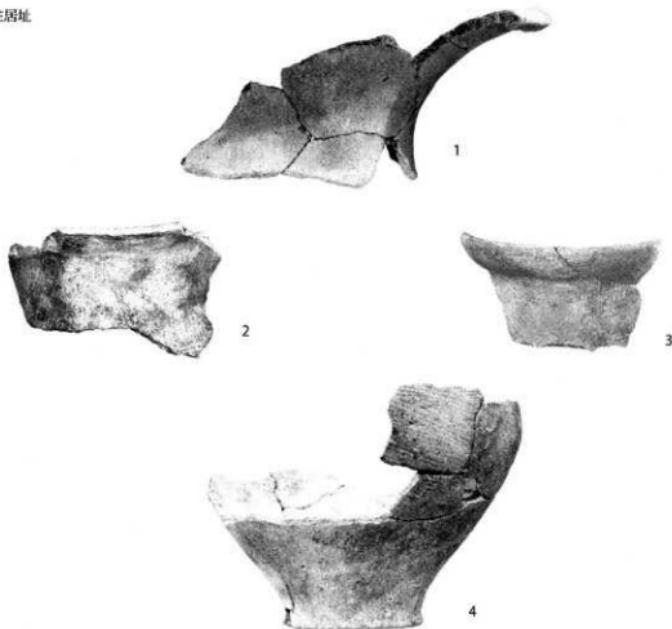


7号 9号住居址

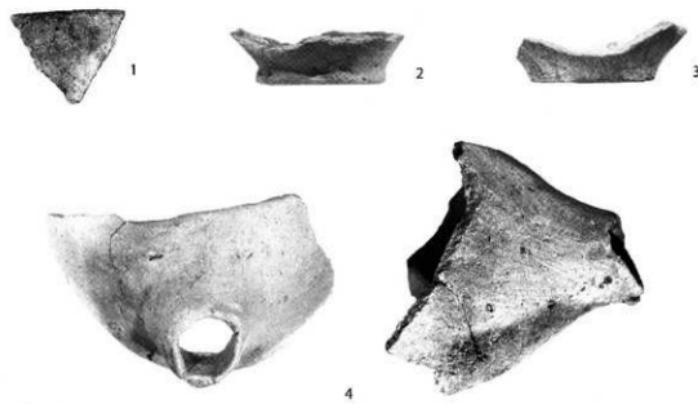


图版 4

1号住居址



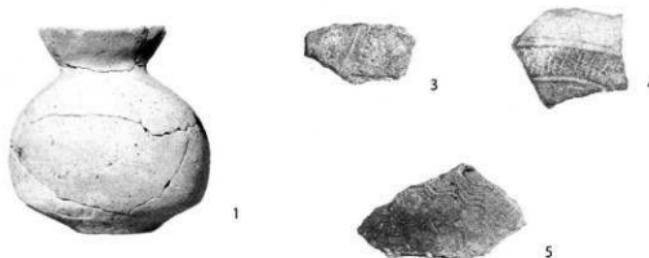
2号住居址



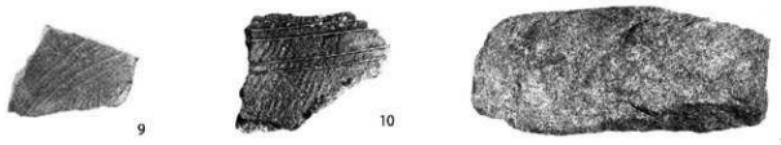
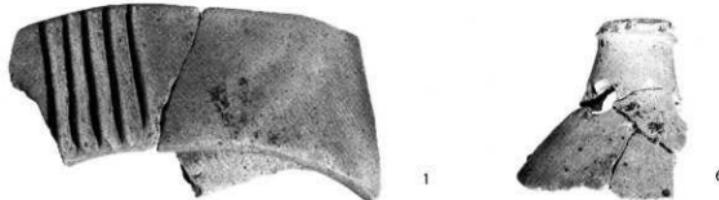
1号 2号住居址出土遗物

图版 5

3号住居址



4号住居址



3号、4号住居址出土遗物

图版 6

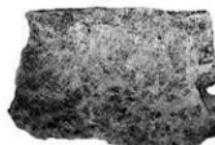
5号住居址



6号住居址



7号住居址



5号~7号住居址出土遗物

8号住居址



1



2

9号住居址



1



2



3



4



5



6



7

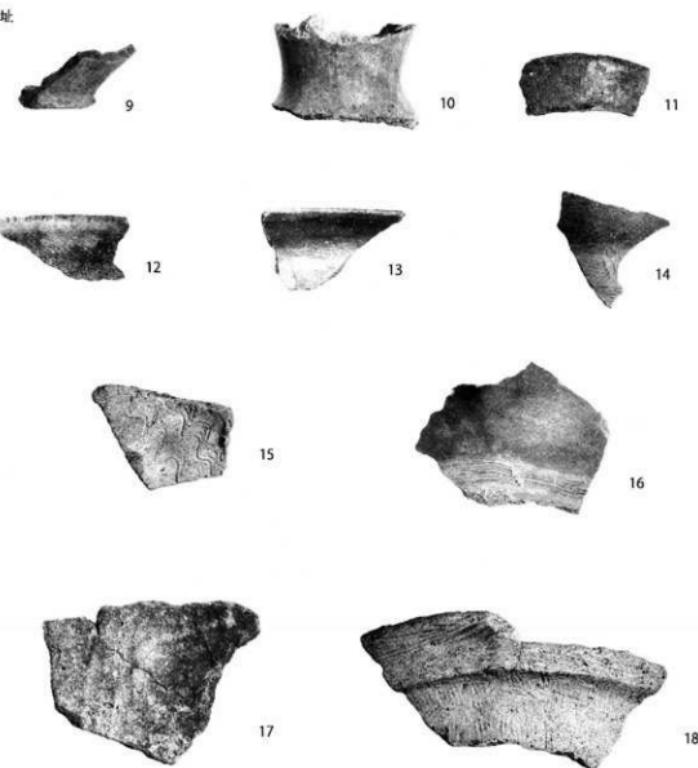


8

8号 9号住居址出土遗物

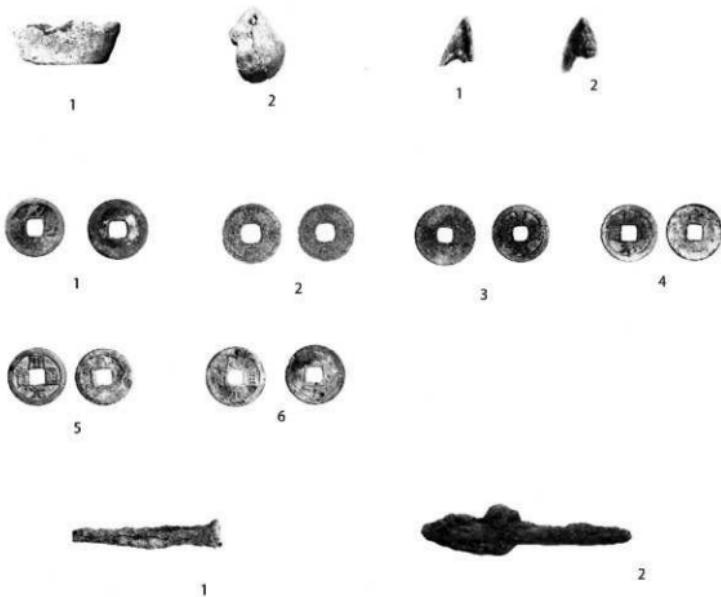
图版 8

9号住居址



9号住居址出土遗物

住居址外



住居外址出土遗物

## 報告書抄録

ふりがな	たかすないせき
書名	高砂遺跡
副題	須玉町統合保育園建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書
ジリ一ズ	-
編著者名	山路基之助 深沢裕三
発行者	須玉町教育委員会
編集機関	須玉町教育委員会
所在地・電話	〒408-0112 山梨県北巨摩郡須玉町若神子 521-17 TEL 0551-20-6111
発行日	平成16年3月31日
遺跡所在地	山梨県北巨摩郡須玉町藤田 826番地ほか
	25,000分の1地形図 若神子
	位置 東経 138° 25' 39.2" 北緯 35° 46' 44.9" 標高 500m
	市町村コード 194034
調査原因	須玉町統合保育園建設
調査期間	平成15年12月3日～平成16年4月22日
調査機関	須玉町教育委員会
調査面積	3,900m <sup>2</sup>
時期	縄文時代、弥生時代
主な遺構	弥生時代後期の住居、暗渠(時期不明)
主な遺物	弥生時代の土器、土鉢、鐵鎌
特記事項	

---

**高砂遺跡**  
**TAKASUNA SITE**

須玉町統合保育園建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書

平成 16 年 9 月 30 日発行

編 集 须玉町教育委員会

発 行 须玉町教育委員会

印 刷 (有)高速プリント

---

